

令和 5 年度 なかぐしくどうん 中城御殿跡地整備検討委員会 概要

1. 令和 5 年度の中城御殿跡地整備検討委員会・部会について
2. 令和 5 年度検討スケジュール（予定）
3. 令和 5 年度第 1 回委員会以降の動向について

1. 令和5年度の中城御殿跡地整備検討委員会・部会について

- 令和5年度は主に、第一期工事（上之御殿エリア）の工事着手、第二期工事（御内原・表御殿西側エリア）の設計、展示収蔵環境を含む施設の管理体制などを検討する。また関連する龍潭周辺整備の状況も引き続き確認する。
- 御内原・表御殿西側エリアの建物設計等が中心となることから、「御内原・表御殿西側エリア検討部会」を設置し、実施設計に係る具体的な課題などについて検討する。
- 部会における検討内容は、検討委員会で諮る。

検討委員会（3回予定）

【委員】	歴史	田名 真之	前沖縄県立博物館・美術館 館長
	歴史	高良 倉吉	琉球大学 名誉教授
	都市計画	池田 孝之	琉球大学 名誉教授
	考古、漆芸史	安里 進	沖縄県立芸術大学 名誉教授
	景観、建築	山城 一美	(公社)沖縄県建築士会副会長
	保存科学	早川 泰弘	東京文化財研究所 特任研究員
	地域、建築	伊良波 朝義	NPO法人首里まちづくり研究会理事長 (公社)日本建築家協会沖縄支部 支部長

【協力委員】	沖総局	大石 智弘	開発建設部 公園・まちづくり調整官
	沖縄県	仲本 隆	土木建築部 参事
		仲嶺 智	土木建築部南部土木事務所長
		仲 厚	土木建築部 都市公園課長
		瑞慶覧 勝利	教育庁文化財課長
		中里 智子	文化観光スポーツ部文化振興課 県立博物館・美術館 博物館副館長
	那覇市	佐久川 泰尚	都市みらい部 参事兼都市計画課長
		上原 清実	市民文化部 文化財課長
	指定管理者	福地 敬	(一財)沖縄美ら島財団 事務局長

御内原・表御殿西側エリア検討部会 (3回予定)

- 御内原・表御殿西側エリアの設計に関する詳細・具体的な内容を議論する。
- 委員及び関係部局によって構成するが、適宜、展示収蔵環境や防災防火の専門家などをアドバイザーとして招聘し、アドバイスを受ける。

【委員】	【関係部局・アドバイザー】		
早川 泰弘 (展示収蔵関係)	専門家 アドバイザー	防災防火関係	関澤 愛 (首里城復元技術検討委員会委員)
		防災防火関係	長谷見 雄二 (首里城復元技術検討委員会委員)
伊良波 朝義 (建築関係)	関係部局・ オブザーバー	沖縄県関係	土木建築部参事、都市公園課、文化財課、 県立博物館・美術館、沖縄美ら島財団
		那覇市関係	文化財課
		国関係	沖縄総合事務局、文化庁

2.令和5年度検討スケジュール（予定）

※進捗に応じて変更になる可能性がある

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討委員会	第1回						第2回			第3回
部会					第1回	第2回		第3回		
関係者調整	調整								調整	調整
検討内容				御内原・表御殿西側エリア実施設計			数量・概算工事費			報告書
				体制条件整理（事例調査含む）		管理運営体制の検討				

月	会議	議論テーマ（案）
R5.6月12日	追加検討委員会 （R5第1回委員会）	<ul style="list-style-type: none"> 御内原・表御殿西側エリア基本設計報告（尚家資料の展示方針含む） 龍潭周辺整備方針報告（龍潭線井戸・歩道、龍潭階段及び周遊路等）
R5.10月20日	検討部会①	<ul style="list-style-type: none"> 展示・収蔵の考え方（対象物など）、設計条件の検討（動線、平面計画、展示・収蔵環境、防災・防火対策） 管理体制の検討
R5.11月28日	検討部会②	<ul style="list-style-type: none"> 御内原・表御殿西側エリアの実施設計の検討 管理体制の検討（管理体制案、首里城公園全体の中でのあり方）
R5.12月20日	第2回検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> 御内原・表御殿西側エリアの実施設計の確認 龍潭周辺の整備について確認（階段、トイレ、龍潭線中城御殿前区画）
R6.1月31日	検討部会③	<ul style="list-style-type: none"> 部会②及び第2回委員会を受けての修正事項について確認
R6.2月～3月	第3回検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> 成果の確認、今後の課題等について確認

3.令和5年度第1回委員会以降の動向について

- 第1回検討委員会以降、沖縄県（首里城復興課）、那覇市（文化財課、歴史博物館）、沖縄美ら島財団を中心とする関係機関の調整会議を行い、管理運営体制や施設の設計条件について検討を行っている。また、あわせて文化庁との協議も実施中。
- 御内原・表御殿西側エリア検討部会（2回実施）や文化庁協議（3回実施）における主な意見は下記のとおりである。

管理運営体制

- 管理体制と施設整備は両輪の関係。施設の整備目的や文化財の展示・収蔵に応じた適切な管理運営体制の構築が必要。
- 管理運営体制検討にあたっては、文化財資料を所有者公開できる体制を整えることが最優先事項と考える。
- 防火管理の面からは、市が責任を持って管理できる案（県から都市公園法の管理許可を得て市が管理する案）が望ましい。
- 那覇市が都市公園法に基づく管理許可を受けて管理する場合、文化財を収蔵・展示する施設の機能を踏まえ、管理許可の条件や運営条件をうまく整理するなどの検討が必要である。
- 管理運営体制の検討にあたっては、展示・収蔵する文化財資料に関する責任の所在を明確にする必要がある。

展示・収蔵環境

- 多くの施設で収蔵庫整備直後に、建材から有機酸が発生している。湿度管理がうまくいかずカビが発生する等の事例も出ている。材料を選ぶ際にどのような接着剤を使っているか等を含めて十分に検討しなくてはならない。
- 城郭内で将来展示すべきものと、中城御殿で展示収蔵するものとの色分けについて、考え方など連携して検討できればよい。
- 当初計画されていた修理室をなくすことはやむを得ないことと理解するが、県や市、財団、研究施設が枠を超えて協力し、修復施設をぜひとも実現できる方向で考えていただき、それに基づいて中城御殿も考えるようにしてほしい。
- 展示・収蔵環境の整備については、文化庁の各種基準や要綱を参照する。（整備基準、温湿度、空気環境など）
- 文化財を展示保管する空間と、その他の空間を隔離し、用途が混在しないこと。一般動線と文化財動線が交差しないこと。
- 立地条件に合わせた温湿度・空気環境対策と文化財IPMの計画を行うこと。
- 収蔵庫の調湿二重壁は、点検口を設けて人が入れる仕様にする方が望ましい。内壁については虫の進入等の対策を講じる。
- 展示室、展示ケース、収蔵庫等の指定文化財が入る場所は塩分除去フィルターを通した空気を取り入れる必要がある。
- 収蔵棚は、新規に設置した方がより効率的な運用ができる。

3.令和5年度第1回委員会以降の動向について

屋根形状、建物の外観再現

- 御内原エリアの床がかなり高く上がることになるが、表御殿東側エリアや表御殿西側エリアとの擦り付けが課題である。特に正門側から中御庭に向かう廊下部分の景観は重要である。
- （表御殿西側エリアの想定屋根は）高屋根案が良いと思うが、屋根と壁がとりあう部分の雨仕舞の関係で景観上あまり良くない納まりにならないよう綿密に調整してほしい。
- 県立博物館美術館の場合、外壁の外側にアマハジがあり、直射日光が当たらない設計となっている。再現性を重視することも大事だが、内部の展示環境への配慮も必要である。

防災・防火対策

<防火区画>

- 展示室や収蔵庫は、防火区画が明確にされている必要がある。ホワイエは、展示室と同じ防火区画に入れない方がよい。
- 事務室には可燃物があるため、事務室側にもう1つ防火扉があるほうがよい。
- 防火扉は炎は通さないが熱は考慮されていないため、国宝を収蔵する施設で普通の防火区画でよいとはならない可能性がある。木造施設が燃えた場合を想定して対応を検討しなければならない。

<消火設備>

- 収蔵庫と展示施設のガス系消火設備については、基本は窒素消火設備にしたほうがよい。
- 収蔵庫はどこかで火事になっても守りやすい位置にある。防火戸や空調との取り合いの作業に集中してよいだろう。一方展示室は、周囲に様々な部屋があり木造施設との距離も近い。木造施設が燃えた場合を想定して対応しなければならない。
- 展示室にスプリンクラーではなくガス消火設備を設置することは理解できるが、人の出入りが多い場所では、確実に部屋を閉鎖をする必要がある。ハード設備だけでなく、ソフト面として設備作動の際の手順などの確認作業が非常に重要である。

<外装材>

- 外装材を人工木とする際には、一定面積のモックアップを作成して、意匠性や表御殿東側エリアとの親和性を確認して最終判断すべきである。同時に、そぐわない場合に選択肢がないと困るため、その部分だけ木造にした場合の熱の対策ができるのか2つ同時の検討が必要である。
- 人工木の耐火性能試験を行い、評価を検証し性能を確かめたうえで判断することが望ましい。人工木の場合は、表御殿東側エリアの木造から火災が発生し、御内原エリアに延焼しないよう、消防が到着する時間まで燃えないという性能をもたせるという目標を持って材料を選ぶ必要がある。

(参考) 整備スケジュール

▽ 令和8年首里城正殿復元工事完成予定

